

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○次世代自動車の普及促進
主な取組	電動車転換促進事業		対応する成果指標	電動車 (EV・PHV) 普及率
施策の方向	・脱炭素型の交通環境を推進するため、電気自動車 (EV) 等の環境に優しい次世代自動車の普及促進、EV利用環境の充実に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
県公用車を率先して電動車に転換し、併せて県有施設の充電環境を整備することで、電動化に向けた基盤整備を図る。	県	電動車の普及促進			
		県公用車(普通乗用車)の電動車導入率			
		15%	20%	32%	
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課		【 098-866-2416 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	電動車転換促進事業			予算事業名	電動車転換促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	240,883	143,675	県単等	直接実施	302,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県公用車16台を電動車に転換し、充電設備30施設113基を設置した。また、モデル事業として太陽光発電及び畜電池を備えた充電設備を設置した。</p>				<p>県公用車52台を電動車に転換する。なお、電動車の導入状況に合わせた充電環境が確保できたことから、令和5年度は充電設備の設置工事は休止する。</p>		

活動指標名	県公用車（普通乗用車）の電動車導入率		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0%	10%	13%	15%	86.7%	概ね順調	<p>県公用車のうち16台を電動車に転換し、充電設備を30施設に113基整備した。加えて、モデル事業として太陽光発電及び畜電池を備えた充電設備を1基整備した。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>電動車の調達に係る入札について、世界的な半導体不足等の影響による自動車の減産を受け不調となったが、その後のメーカー等との調整により16台を購入することができた。また、充電設備を30施設に113基整備し、モデル事業として太陽光発電及び蓄電池を備えた充電設備を1基設置した。については、活動指標の目標値を達成していないものの、次世代自動車の普及促進に寄与したことから、「概ね順調」と判定した。</p>	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>令和3年度から県の公用車を率先して電動化することで、次世代自動車普及に向けた環境づくりと、県民に対する普及啓発を行う。</p>	<p>令和3年度からの累計で県公用車のうち75台を電動車に転換し、充電設備については30施設に121基整備している。加えて、モデル事業として太陽光発電及び蓄電池を備えた充電設備を1基整備している。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	世界的な半導体不足等の影響を注視しながら、電動車への転換を進める必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	本県では運輸部門の二酸化炭素排出量が高い割合を占めており、電動車への転換を進めていく必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	電動車の調達が不調とならないよう、自動車メーカー等から電動車への転換を進めるに当たって必要な情報収集を行う。
⑧ その他	電動車への転換を促進するため、電動車への転換や電動車充電設備の導入を支援する必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○次世代自動車の普及促進
主な取組	次世代自動車普及に向けた啓発活動		対応する成果指標	電動車 (EV・PHV) 普及率
施策の方向	・脱炭素型の交通環境を推進するため、電気自動車 (EV) 等の環境に優しい次世代自動車の普及促進、EV利用環境の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
沖縄県地球温暖化防止活動推進センターやおきなわアジェンダ21県民会議などの関係機関と連携し、電気自動車などの次世代自動車の普及促進に向けた啓発イベントを行う。	県	イベント等を活用した次世代自動車の普及啓発			
		普及啓発イベントの実施件数(累計)			
		2件	2件(4件)	2件(6件)	
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課		【 098-866-2416 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	環境月間街頭キャンペーン等			予算事業名	環境月間街頭キャンペーン等	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	83	0	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	51
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
6月6日にサンエー那覇メインプレイスで実施した街頭キャンペーンなどの環境月間行事を通して、次世代自動車の普及に向けた啓発活動を行った。				街頭キャンペーンなどの環境月間行事を通して、次世代自動車の普及に向けた啓発活動を行う。		
予算事業名	県民環境フェア開催運営委託業務			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	0	27,440	主な財源	実施方法	当初予算額
				-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
11月12日に沖縄こどもの国で開催した県民環境フェアを通して、次世代自動車の普及を含む啓発活動を行った。				県民環境フェアを通して、次世代自動車の普及を含む啓発活動を行う。		

活動指標名	普及啓発イベントの実施件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1件	0件	2件	2件	100.0%	順調	街頭キャンペーン (参加者：214名) などの環境月間行事及び県民環境フェア (参加者：3,971名) において次世代自動車の普及を含む啓発活動を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>街頭キャンペーン（参加者：214名）などの環境月間行事及び県民環境フェア（参加者：3,971名）において、次世代自動車の普及に向けた啓発活動を行っており、活動指標の目標値を達成し、次世代自動車の普及促進に寄与したことから、順調と判定した。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>環境月間等各種イベントにおいて県内自動車メーカーと協力し、次世代自動車の展示等を行う。またその際には、電気供給源としても利用し次世代自動車の新たな活用法についても紹介する。</p>	<p>県民環境フェアにおいて県内自動車メーカーと協力し、次世代自動車（電気自動車及び燃料電池自動車）の展示を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>国が中心となって推進しているデコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の趣旨を踏まえつつ、普及啓発を推進する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	<p>デコ活の趣旨を踏まえ、令和4年度に立ち上げた「沖縄県の気候変動適応情報」のウェブサイト次世代自動車の情報発信を図る。</p>
⑤ 情報発信等の強化・改善	<p>県の所有する電動車の活用や県内自動車メーカーとの協力等によって、県民環境フェア等各種イベントにおいて次世代自動車の展示を行う。</p>
⑤ 情報発信等の強化・改善	<p>再生可能エネルギー由来の電力を活用した次世代自動車の運用（ゼロカーボン・ドライブ）や災害時の電力融通など、次世代自動車の多様な運用方法の普及啓発を行う。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○全島緑化の推進
主な取組	全島緑化活動の推進		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・県民一体となった全島緑化の推進については、行政のみならず地域住民、企業等との共同による県民一体となった緑化を推進するとともに、在来種の活用を推進し、沖縄らしい緑地の創出に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
「100先を見据えた緑の美ら島の創世」を目指すことを目的に、県民一体となった緑化を推進するため、各種イベントの開催により普及啓発を行うとともに、市町村や緑化施策に資する企業・団体などに対し、緑化活動の支援を行う。	県,市町村,団体等	普及啓発イベント等の実施及び地域住民等が行う緑化活動の支援		
		緑化活動件数(累計)		
		250件	250件(500件)	250件(750件)
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2416 】	関連URL	https://www.midorihana-okinawa.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	緑化推進費、全島緑・花・香りいっぱい運動事業			予算事業名	緑化推進費、全島緑・花・香りいっぱい運動事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	21,315	20,214	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	19,188
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
緑化活動に関するイベントや普及啓発及び、緑化推進に取り組む各種団体、企業、市町村を支援することにより、各種緑化活動が実施された。				引き続き、緑化推進を図るため、イベント開催による普及啓発や緑化活動に取り組む各種団体を支援する。		
予算事業名	緑化木保全対策事業			予算事業名	緑化木保全対策事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	30,804	45,871	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	44,414
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
市町村が実施する緑化木の病虫害防除に対して支援した。				引き続き、緑化推進を図るため、市町村が実施する緑化木の病虫害防除に対して支援する。		

活動指標名	緑化活動件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	262件	278件	272件	250件	100.0%	概ね順調	「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」の開催を始め、県植樹祭等の緑化関連行事10件、地域や各団体への講習会や活動支援約80件、市町村への病虫害防除支援29件、学校や各団体による緑化活動が150件行われた。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値250件に対し272件の緑化活動が行われたことから、概ね順調であると判断した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な取り組みを実施する必要があるため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を継続して開催し、県民一体となった緑化活動に取り組み、県庁内部においては、緑化活動に対する認識を深め、横断的な取り組みにつながるよう努めていく。企業、学校、地域住民が行う緑化活動に支援を行い、緑化の意義や大切さの理解を広め、関心を高めていく。 ・緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供するほか、緑化技術講習会を継続して開催することによりインターネットでは伝えにくい情報を補完し、緑化活動支援の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県全体で横断的な緑化活動の取り組みにつながるよう、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催するほか緑化マトリックス会議を開催している。また、企業、学校、地域住民が行う緑化活動を支援し、各種イベント等とおして普及啓発を行った。 ・緑化活動に関する技術書をHPに掲載しインターネットにより広く提供し、また緑化講習会において実演講習により、緑化活動及に関する技術の補完を行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	県庁内部においては、緑化活動に対する認識を深め、横断的な取り組みにつながるよう努めているが、取組が十分ではない。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	緑化を推進する他部局との横断的な連携を更に深め、各部局が実施している事業期間のスケジュールやニーズを共有することにより、計画的に緑化推進に取り組めると考える。